

石垣ロータリークラブ週報

: 今月のロータリーレート \$ 1=112 円:



2018-2019年度 国際ロータリーのテーマ

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなの為になるかどうかどうか



地区ガバナー: 松坂 順一氏「研修と活性化」

◆クラブテーマ『ロータリーを楽しもう!』

東京王子ロータリークラブ

国際ロータリー第2580地区
今週のクラブ紹介

会長: 横瀬 幸弘 幹事: 福田 洋平 テーマ「ロータリーを考える」
例会日時: 水曜日 12:30~13:30 例会場: 上野精養軒

～ 誕生 1961年4月 ～

創立



1961年4月12日、我が国が今まさに高度成長期にさしかかろうとする時期に、東京王子ロータリークラブは産声をあげました。爾来、国際ロータリー第2580地区、親クラブである東京北ロータリークラブを始めとした北分区、姉妹クラブである台北府門ロータリークラブほか国内外のロータリー、地元北区など多くの皆さまのご支援・ご協力を賜わり、今日を迎えています。

現在

当クラブはロータリー歴の豊かな会員から若い会員、また、数名の女性会員が在籍し、バラエティに富んだ会員構成が特徴となっています。そうしたなかで、クラブメンバーのコミュニケーションは活発で約60名の会員がクラブライフを楽しんでいます。



我那覇宗広氏 4日 大濱達也氏 6日 宮良薫氏 12日 小底厚子氏 14日 上原晃子氏 23日 大底英一郎氏 25日 今西敦之氏 28日

10月の予定: 3日ゲスト卓話 10日特別休会 17日IM大会振替休会 24日ゲスト卓話 31日移動例会

会長: 遠藤 正夫 副会長: 橋本 孝来 幹事: 池城 貞光 副幹事: 大田 次男

例会日 水曜日 12:30~13:30

例会場 アートホテル石垣島 (0980) 83-3311

事務局 〒907-0013 石垣市浜崎町 1-1-4

TEL/FAX (0980) 83-2917

URL <http://ishigaki-rotary.jimdo.com>

E-mail ishirota@ninus.ocn.ne.jp

《第9回 9月12日(水)例会報告 (通算2803回)》

<司会進行> 松尾 和彦

ロータリーソング:手に手 四のテスト

ソングリーダー:橋本 孝来

メイクアップ:宮良 薫 吉田 貴紀 上原 晃子 仁開 一夫
漢那 憲隆 宮良 榮子 新 賢次 佐久本 達

ビジター:那覇 RC 山城 博美氏

<出席報告>

会員総数:44名

出席義務会員:43名

出席数:31名

欠席数:12名

出席率:74.41%

通算出席率:68.26%(9月)



本日のニコニコ

*山城 博美氏:お邪魔しています。石垣 RC のますますの発展をお祈りします。

*遠藤 正夫氏:豊川支署長 卓話ありがとうございました。

*今西 敦之氏:国際奉仕委員会の皆様モアイお世話になりました。

記憶がないまま帰宅いたしました。

◆BOX ¥4,000

(累計¥51,000)

◆コイン ¥4,357

(累計¥29,469)

合計¥80,469



会長挨拶:遠藤 正夫

こんにちは。山城会長からお話がありました、次年度ガバナーの新本さんは八重山出身でもあります。補助金に関しましては、理事会の方でもどうするか話は出ましたが、皆さんと話し合いながら決めていきたいと思わず。本日ゲスト卓話に石垣税関支署、豊川署長にお越し頂いております。いろいろと取り締りについてのお話が聞けると思っています。どうぞよろしく願いいたします。

◆◆◆ 幹事報告:池城 貞光 ◆◆◆

クラブ会長・クラブ奉仕委員長 勉強会の案内が来ております。9月25日(火)と10月9日(火)の2回ございます。各委員長は事務局の方で詳しく聞いてください。また、沖縄分区から例会変更の通知が来ておりますので、行く予定がある方は事務局で確認してください。

ビジター:山城 博美氏 那覇 RC 会長



那覇 RC の会長をしております山城と申します。仕事は海運関係をやっております。新本ガバナーエレクト並びに地区役員への活動協力金のお願いに参りました。来年の7月から那覇 RC に所属する新本さんが、現在ガバナーエレクトで2019年度からガバナーになります。それに合わせまして、那覇 RC 新垣淑典さんが現在地区副幹事をやっております。次年度には地区幹事予定者となっております。ガバナーになった時には地区から補助金が出るらしいのですが、ガバナーエレクトの時からいろいろと忙しく何度も東京行って研修を受けたり、

新垣淑典副幹事もそうなんですが、これに対して補助金がないんです。ガバナーや地区幹事になった時にはそれなりの補助金があるのですが、エレクトや副幹事の段階では出ないと。つまり現年度がいろんな活動費があります。その為の活動費を是非、沖縄分区の皆さんにお願いしたいという事です。那覇 RC からガバナーを出すという事で、10ある RC の皆さんにお願いに回っております。沖縄分区からガバナーが出るのはようやく5人目ということです。非常に栄誉あることですので、しっかり頑張ってもらう為に皆さんにご協力をお願いいたします。ちなみに那覇 RC は別途に活動費として特別会計から250万円、会員1人1人が別途に1万円ずつ負担する事にしてありますが、那覇 RC 以外の10クラブの皆さんには大変恐縮ではありますが、会員1人当たり5千円ずつをお願いしたいと思います。10月16日に那覇 RC がホストになります IM がありますのでそれも併せて、是非とも暖かいご協力をお願いいたします。

ゲスト卓話:豊川 尚氏 石垣税関支署 署長



◆テーマ◆

『薬物密輸の現状』
について



私の出身は石垣市登野城、登野城小学校、石垣第二中学校、八重山高校を出まして昭和55年に沖縄地区税関に入関いたしました。23歳の時に希望で東京税関の方に出向し、30歳の時に沖縄に帰ってきました。H8年から1年間、与那国島、H21年から約3年間石垣支署にいましたが、約6年ぶりに石垣支署勤務になります。今回 RC の卓話について、友人でありますプログラム委員長の黒島剛君から依頼があり快く引き受けさせて

頂きました。本日は「薬物密輸の現状について」と題しまして、税関の仕事も紹介させて頂きながらお話させて頂きます。短い時間ではありますがどうぞよろしくお願いいたします。税関は財務省の一機関の行政官庁となっております。その字の通り税と関に分けられます。税の部分は輸入貨物に化せられる税金を輸入通関の時に徴収、また輸入許可後に輸入者に対して輸入申告の内容を確認するなど、適正な税金の確保を担う官庁としての役割を持っております。関は皆さんご存じの通り江戸時代の関所の関と同じ意味で日本に輸入しては行けない大麻、覚醒剤などの不正薬物、それから拳銃、ニセブランド品などの不正輸出入の取り締りを行う官庁です。税関は安政6年(1859年)長崎、神奈川、函館の港に設けられた運上所というのが前進で、その後明治5年(1872年)にその運上所が税関と改められ正式に税関が発足しております。組織については全国に9つの税関があります。それぞれの税関に支署、出張所があり石垣税関支署も沖縄地区の税関支署になります。職員数は今年の7月現在、約9,400人、沖縄地区税関はその内、約290人となっており、平良出張所、与那国支署も管轄しております。税関は大きく分けて3つの使命が課せられています。1つは不正薬物、拳銃などの密輸を阻止する「安全・安心な社会の実現」2つ目は貨物を輸入する際に関税という税金を徴収いたしますがその関税を「適正かつ公平に税関等を徴収する」3つ目は外国との「貿易の円滑化を進める」日本の貿易の発展に努めるというのが使命です。我々税関職員はこの3つの使命を基本として日々の仕事に取り組んでおります。税関での具体的な仕事としては、輸出入貨物の書類審査・検査。税関に提出された書類に不備がないか正しく記載されているかどうかの審査。申告された以外の物、違法な物が入っていないかどうかの検査を行っております。税関への輸出入申告は現在ナックスというオンラインシステムによって行われています。次に海港の取り締りについて。ここ石垣港については外国貿易船である貨物船よりも大型のクルーズ船の方が沢山入港しております。H29年度は外国船貨物入港数が約120隻だったのに対しクルーズ船は約130隻の入港がありました。船の中には覚醒剤、大麻などの密輸しようとする乗組員あるいは旅客もおりますので、船内を検査したり、船から降りてくる旅客の手荷物の検査も行います。石垣にはまだクルーズターミナルが整備されていませんので、現在は船内においてお客様の手荷物検査を行っております。また、接岸出来ずに沖合に停泊するクルーズ船についてはお客様をボートで離島ターミナルの棧橋まで連れて来て、ターミナル横に設置されています簡易のプレハブ検査場で手荷物検査を行っております。しかし船内

及びプレハブとも十分な検査環境検査施設とは到底言える物ではありませんので、旅客にとっても私達検査をする職員にとっても、1日も早い旅客ターミナルの建設が望まれるところであります。空港での手荷物検査については、覚醒剤等を密輸しようとする人もいますので、お客様の手荷物、時には身辺を含めて検査をしております。最近では特に金を密輸しようとする物が増えておりますので、取り締りも強化しているところです。国際郵便物について貨物や人以外に外国からの郵便物についても検査を行っています。近年は特に外国郵便を利用した不正薬物等の密輸もかなり多くなっている現状であります。麻薬探知犬はまさに麻薬の匂いを嗅ぎ分ける事のできる特別に訓練された犬で我々税関職員にとっても重要なパートナーとなっております。これまで紹介した輸出入の貨物の検査、空港でのお客様の手荷物の検査、それから外国郵便物の検査など税関が行ういろんな検査の場で大いに活躍しております。ちなみに全国の税関に配備されている麻薬探知犬は約130頭、沖縄には那覇の方に3頭配備されております。石垣には配備されておきませんので、必要に応じて那覇より派遣してもらい検査を行う事としております。

『薬物密輸の現状について』不正薬物とは覚醒剤、大麻(あへんへロインコカインMDMA等)の麻薬、向精神薬及び指定薬物等をいいます。昨年、不正薬物の全体の摘発件数は784件、前年比12%の減、押収量については1,379Kgで前年比16%の減、いずれも減少しておりますが、摘発件数については過去3番目、押収量については過去4番目と依然として深刻な状況となっております。覚醒剤の密輸入動向についてはH29年度、摘発件数は151件(前年比45%増)と大幅に増加。押収量は約1,159Kg(前年比23%減)と過去最高を記録した前年から減少したものの2年連続で1トンを超えております。押収した覚醒剤は薬物乱用者の通常使用量の約3,864万回分、末端価格にして約741億9,300万円に相当いたします。覚醒剤1回の使用量は約0.03gと言われております。H30年4月1日現在の末端価格g当たり6万円となっております。昨年の4月時点ではg当たり6万4千円でしたが1年間で4千円値下がりしております。更にそれ以前のH25年4月時点ではg8万円でした。このように末端価格が値下がりするという事はそれだけ沢山の覚醒剤が密輸入されて国内に数多く出回っているという証であるとも言えます。我々税関職員も昼夜を問わず密輸入の取り締りを全力で行っていますが、残念ながら何処かで抜かれている状況は否めません。覚醒剤の密輸形態別の摘発件数・押収量H25年~29年までの推移は航空機旅客等、国際郵便物は増加。商業貨物等、船員等による密輸入は減少しまし

たが、押収量については高水準となっております。国際郵便物による密輸入が摘発件数・押収量とも過去最高を記録しております。航空機旅客等による密輸入の摘発件数 99 件(前年比 87%増)押収量 190Kg で前年比約 2.4 倍といずれも大幅に増加。中でもタイからの密輸入件数が前年比約 6.7 倍マレーシアは 6.5 倍と増加が顕著であり、両国からの密輸入の特徴として半数以上が 20 代～30 代の若い女性によるものであったという事です。覚醒剤の密輸仕出地区別に摘発件数を見ますと航空機旅客の密輸ではタイが 21 件、前年比 3.5 倍と大幅に増加。これまで 6 年連続で最も多かった中国を抜いて最多となっております。マレーシアは 14 件で前年比 7 倍と大幅に増加。押収量については中国が 883Kg で前年比 19%減となっておりますが、全体の 7 割以上を占めております。一方、近年上位だったメキシコが約 14Kg で前年比 95%の減、台湾が約 7Kg で前年比 93%減と大幅に減少しております。大麻・指定薬物の密輸入の動向では、大麻の摘発件数は 171 件(前年比 45%増)、3 年連続で 100 件を超え、押収量は約 130Kg(前年比 14.9 倍)と大幅に増加。大口事犯の摘発によるものだと思っております。危険ドラッグについては摘発件数 274 件(前年比 43%減)最も多かった H27 年(1,462 件)の 5 分の 1 以下まで減少、押収量についても約 8Kg(前年比 57%減)と大幅に減少しております。指定薬物の減少につきましては、各取り締り機関による規制、取り締りの強化、国及び地方自治体の危険ドラッグに関する注意喚起、インターネットやマスコミを介した警鐘が徹底されたものによるものであると考えられております。一方で指定薬物等の取り締りが強化された事で覚醒剤、大麻、麻薬等の求める者が増加する現象が危惧されていまして、我々税関としても警戒感を持ってより一層の取り締り強化に努めて参りたいと思っております。最近の密輸事例では中国から到着した海上貨物の検査において、猫砂の袋内に覚醒剤約 351Kg が隠されていきました。商業貨物での 1 度の押収量としては過去最高の密輸事犯となります。国際郵便物においては、H29 年 12 月に米国から到着した国際スピード郵便物の検査で調味料の袋内に隠匿されていた覚醒剤約 64Kg を摘発。一度の押収量、過去最高の事犯となります。航空機旅客の携帯品では H30 年 4 月に東京税関 羽田税関支署においてケニア共和国から帰国した日本人夫婦が所持していたボストンバッグ内に収納したコーヒー袋内から覚醒剤約 30Kg を摘発。過去最高の押収量となります。H29 年 2 月東京税関においてギターケース内に隠匿されていた覚醒剤約 10Kg を摘発。沖縄地区税関においての不正薬物の状況として H29 年不正薬物の摘発件数は 41 件、H28 年が 33 件、押収量が約 2.6Kg

銃砲類の摘発について H29 年はありませんでした。押収量は前年に比べ減少しておりますが、摘発件数事態は 41 件と増加傾向にあります。なかでも大麻事犯の摘発が前年比約 2.5 倍、覚醒剤は 2 年連続でキロ単位の摘発をしております。H28 年の覚醒剤の摘発件数は約 614Kg となっておりますが、H28 年 5 月に那覇港において外航ヨットから約 600Kg と一度に押収された覚醒剤の量としては史上最高の摘発になります。当石垣税関支署管内における不正薬物等の摘発状況について、先島地域における過去の主な社会物品摘発としては、2000 年 3 月に覚醒剤約 201.5Kg を宮古島の博愛漁港付近海岸で陸揚げして摘発。2000 年 9 月に拳銃等 86 丁を御神崎へ陸揚げしようとして摘発された事例。2004 年 7 月に覚醒剤約 98Kg を西表島沖ノ御神島沖で摘発された事例。2007 年 3 月うなぎ稚魚(シラス) 134Kg を石垣漁港から台湾に密輸出しようとして摘発された事例。過去には先島地域海域において大量の不正薬物、拳銃等の密輸出入が摘発されていまして、地理的にも中国、台湾とも近いという事から現在においても密輸出入の中継地として利用されるリスクがあるものと考えられております。最近の社会物品等の摘発事例については H28 年石垣支署での摘発事例ですが、クルーズ船旅客による携帯品及び居室内からの摘出による物でございます。大麻、ケタミンの不正薬物、金地金 15Kg を密輸入しようとした物。H29 年の摘発事例としてはクルーズ船旅客による大麻と金地金、香港からの定期航空機便から大麻、コカインを密輸入しようとした事例。クルーズ船だけでなく定期航空便の旅客からも摘発もあるという状況になっております。H28 年からクルーズ船の入港がかなり急増しており、H28 年 84 隻、H29 年 130 隻と大幅。更に今年は年末までに約 180 隻以上の入港を見込んでおります。クルーズ船の入港増加とともに不正薬物等の密輸を働く輩も増えてくる事が充分考えられます。税関としても取り締りにも益々力を入れていかなくてはならないと考えております。H28 年 5 月の那覇港に入港した外航ヨットから摘発された覚醒剤約 600Kg と一度に押収された不正薬物の量としては全国においても過去最高量であり、これだけの量ですから沖縄だけの消費ではなく日本本土に持ち込むつもりであったというのは明白だと思います。こういった事からもいかに先島諸島含む沖縄の海域が密輸の中継地として利用されているか、又そのリスクが依然として高いものであるか、という事がお分かり頂けたかと思っております。密輸に関する噂話し、些細な事でも結構ですので、税関の密輸情報ダイヤル 0120-461-961(しろいくろい)しろいは粉、くろいは銃、までご一報くださいますようよろしくお願いたします。

第9回(通算2803回) 9月12日(水)～例会風景～

ゲスト卓話:石垣税関支署 豊川 尚 署長



🎀 バナーの贈呈!



『薬物密輸の現状について』お話しをしていただきました。
ありがとうございました。



第10回(通算2804回) 9月19日(水)～移動例会～

東上里 和広会員 職場訪問 『有限会社うえざと木工』



12:30 現地集合



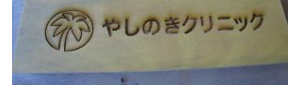
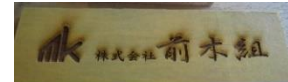
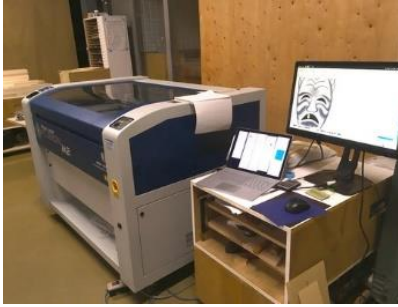
見晴らし抜群の立地!

<コンセプト> 今こそ、もう一度島材(島の木材)を見直す時。

石垣島には、海だけでなく山や森にも魅力があるということ、島材を通して伝えたい。このような思いをどうやったら実現できるかを考えてきた中で、島のモノをふんだんに使った製品開発に取り組んでいます。私たちはずっと島材を使いたいと思っていました。この島には、目と鼻の先に豊かな資源があります。なぜ私たちは地球の裏側の木材を運んできて使わないといけないのか?かつて島の生活道具はすべて島材で作られていました。現在は使いやすい輸入材に押されて「島材=使えない材料・高価」と勘違いされていますが、私達は「通用しなくなっただけ」であると考え「現在に通用する島材木製品」を作れば普及すると思っております。地にあるものを地で消費する。それが最も自然なことで、この島の環境を守るという意味でもやっていかなくてはならないと考えています。

製作ステップ

- ①材料を選ぶ→②切り出し→③骨組み④面材カット→⑤プレス→⑥パネルカット
⑦フチ出し→⑧フチ貼り→⑨仕上げ→⑩NC加工→⑪金具取付→⑫完成！



ネームプレート

シックな物から可愛い物まで
様々なデザインがありました。



ランチは石垣島鍾乳洞内
「石垣島食堂」で牛汁定食
Or そば定食を頂きました♪



第11回(通算2805回) 9月26日(水)～夜間例会風景～

アートホテル石垣島『はまゆう』 18:30



台北大同扶輪社
林金淵会長と
バナーの交換

台北大同扶輪社から6名の方がご来訪くださいました。
お会い出来て楽しかったです♪ たくさんのお土産ありがとうございました。



ゲストの仲田かおりさんと
デュエット♪

